

第5回 鳴門西地区地域座談会報告

日時	平成 29 年 10 月 19 日 (木) 19:00 ~ 21:00		
テーマ	生活上の困りごとを解決するために ~買物や外出に困っている方に地域でできる支援を考えよう~ 高齢者の見守り活動をひろげるために ~高齢者世帯を地域全体で見守り支えるためにできること~		
会場	鳴門公民館	参加者数	14名
<p>今回の座談会のテーマは、これまで開催した座談会で、この地区の福祉課題として挙げられたもののうち、「生活上の困りごと」と「高齢者の見守り活動」をとりあげ、地域でどのような支援ができるのか、また社協にどういった支援を求めるかについて意見交換を行っていただきました。</p> <p>「生活上の困りごと」については、まず区内でどんなボランティア活動団体があるのかを把握したうえで、不足しているボランティアがあれば有償でも活動できるよう組織づくり・意識づくりを支援する、あるいは島内で買物ができるような誰もが集える拠点をつくるといった意見がだされました。また、何に困っているか意思表示する「鳴門西ヘルプカード」をつくってはどうかとの具体的な取組みも提案いただきました。</p> <p>「高齢者の見守り活動」については、民生委員や老人クラブなどが中心となって、まず高齢者や高齢者のみの世帯状況を把握し、地域活動に参加できるよう顔見せ運動を地域で展開したり、気軽に集える場を地域につくることも必要ではとの意見もだされました。</p> <p>地域住民の皆様には座談会に参加いただき、本当にありがとうございました。</p>			



第4回 鳴門西地区地域座談会報告

日時	平成29年9月21日(木) 19:00～20:30		
テーマ	鳴門西地区の地域コミュニティづくり ～近所の人との付き合いを深めるために～		
会場	鳴門公民館	参加者数	17名
<p>鳴門西地区は、人口の流入に伴って新たな住民が増え、地域活動も活発な地域ですが、一方で新たな住民と近隣者の関係が希薄化してきており、地域活動への参加を促すことへの難しさが課題としてあがっていました。</p> <p>そこで、今回の座談会のサブテーマを「近所の人との付き合いを深めるために」として、近隣者同士のつながりをつくり出すための活動について、3班にわかれて意見交換を行っていただいたところ、難しいテーマにもかかわらず活発に意見がだされ、付箋がたくさん貼り出されました。</p> <p>発表では、「開始期」には声掛けや現在の活動への参加を呼びかけ「であい」の機会を増やす、「中間期」には子どもたちを通じた交流や新たな活動の創出によって「ふれあい」の機会を増やす、そして「終了期」には、だれもが気軽に立ち寄れる拠点(居場所)を確保し、近隣者同士の状況を把握したり、「助けあい」活動につなげていこうとまとめていただきました。</p> <p>今回の座談会で出された地域の目標や活動内容は、地域福祉活動計画に盛り込まれること、またその活動を地域や社協で取り組んでいくことなどを参加者全員が共有し、第4回地域座談会を閉会しました。</p>			
  			

第3回 鳴門西地区地域座談会報告

日時	平成29年6月20日（火） 19:00～21:00		
テーマ	鳴門西地区の課題抽出 ～困りごとから解決への役割を考えよう～		
会場	鳴門公民館	参加者数	21名
<p>今回のテーマは、これまでの座談会のテーマをより地域での生活に密着した課題に着眼・抽出していただき、その解決を ①個人や家族・隣近所 ②町内・地域・地区社協 ③社協 ④行政 のどこか担うべきかについて、意見を出し合ってもらいました。</p> <p>課題抽出の場面では、現在だけでなく将来にわたる福祉課題について考えるということで、最初は戸惑いもみられましたが、不安や悩みを気軽に相談できる機会が少ないこと、地域活動に勤しむ地域の方々が高齢化してきており次の担い手に引き継いでいないこと、近隣に商店等が不足してきていることなどが課題として挙げられました。また、児童数が増加していますが、一方で子育てのことで悩む親も増えており、相談窓口の設置や教育機関との連携確保を望む意見もありました。</p> <p>鳴門西地区は人口流入が続いており、若い世代の活力をどのように地域力として活かしていけるかが、今後の座談会のポイントになりそうです。</p>			
  			

第2回 鳴門西地区地域座談会報告

日時	平成29年4月24日(月) 19:00 ~ 20:45		
テーマ	福祉資源マップづくり～鳴門西地区の福祉資源を掘り起こす!～		
会場	鳴門公民館	参加者数	19名
<p>20～70歳代の幅広い年齢層の方々がご参加くださいました。日ごろ利用している或いは知っているこの地域の「福祉資源」を班毎に出し合い、地図に落として色分けし、福祉資源の特徴を班で確認する作業を行いました。</p> <p>鳴門西地区は、豆腐屋・うどん屋・レストランやカフェなど個人商店や飲食店が増えており、食材確保や交流の場は充実していますが、生鮮食品や日用品を手に入れるためには車でスーパーまで出て行かなければならない地域であることがわかりました。</p> <p>また、大学や習字・英語・ピアノの先生などの教育資源、ふれあい広場・キッズステーション等の住民活動、100歳の長寿者の存在や雷が絶対に落ちない三ツ石・消火栓の完備など防災に強い地区である紹介もありました。</p> <p>最後に徳島大学の柳澤先生より、「高齢になり車を手放した時に食材や生活用品を手に入れることが今後の課題となり、それを見据えての対策が必要でしょう。」とのコメントがありました。</p>			
			
			
			

第 1 回 鳴門西地区地域座談会報告

日 時	平成 29 年 3 月 28 日 (火) 19:00 ~ 20:50		
テーマ	鳴門西地区らしさってなんだろう (鳴門西地区の魅力発見)		
会 場	鳴門公民館	参加者数	38 名
<p>地区社協会長さんや自治振興会組織の各役員さん、市民委員さんの声掛けにより、20 歳代~70 歳代の幅広い年齢層の参加があり、子育て世代や移住された方々、消防団長や団員さんも制服で参加下さり新鮮でした。</p> <p>意見交換会は 7 班編成で、顔見知りばかりの班や、「この島に住んで〇年目」「へえ！あそこの人」、「〇〇の活動をしています」など、それぞれの顔や家・活動などを自己紹介する班など様々で始まりました。</p> <p>「鳴門西地区の魅力・自慢」の班ごと発表では、海に囲まれた美しい景観・土地が安価・小鳴門大橋や渡船の利用による交通の便の良さなど移住しやすい立地条件、内の海公園や塩田公園の整備・環境や見守りなどのボランティア活動が盛んで人の繋がりが豊富、理想的な教育環境などが挙げられ、最後に参加者全員が「子育てしやすい島鳴門西」「住みよい島鳴門西」を確認しました。</p>			
			
			
			